



高知市立学校教職員研修で行った研修のうち、「授業づくり」「学級経営」「校内研修」等の内容をお知らせするために「研修便り」を発行します。

第2回 あったか授業・学級経営充実講座

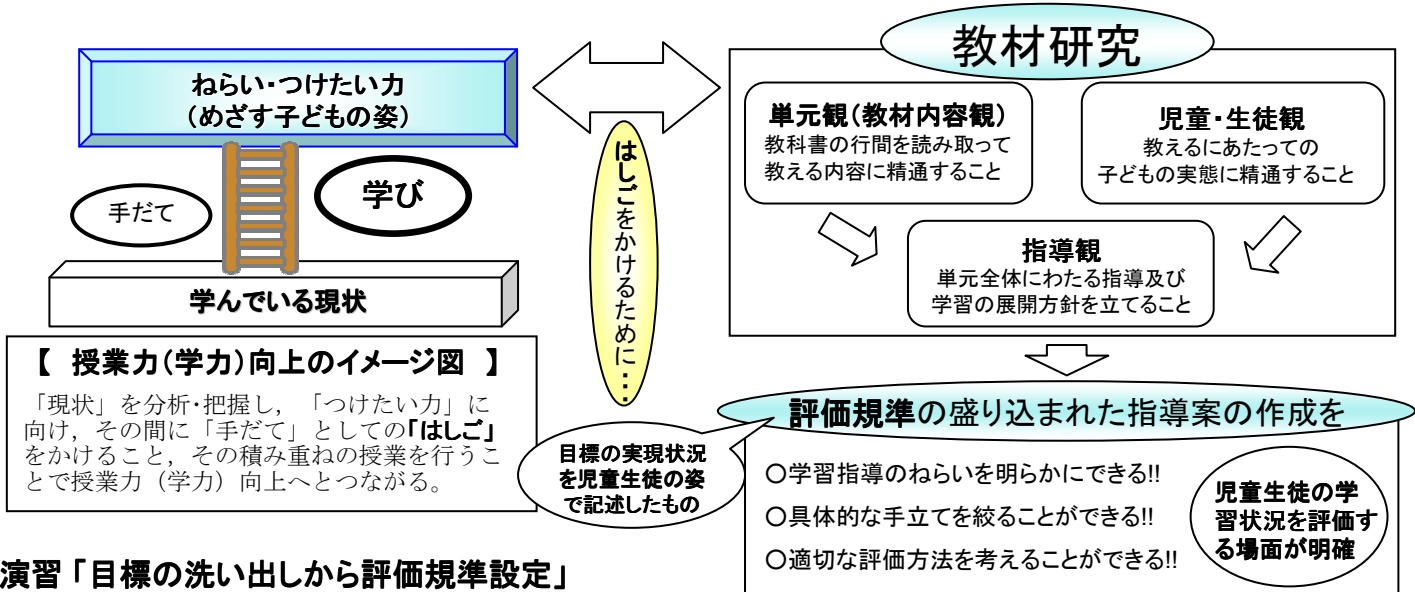
平成24年7月5日(木)実施

教育研究所の3つの班「教育相談班」「特別支援教育班」「教職員研修班」がそれぞれの持ち味を生かし、コラボレーションして行っている4回連続の希望研修です。

目的 児童生徒を取り巻く状況を把握して、さまざまな視点から学級経営を充実するための方策を学ぶ。

「分かる楽しい授業の基礎・基本」

高知市教育研究所 教職員研修班



演習「目標の洗い出しから評価規準設定」

目標分析による目標の洗い出し

小学校1年「繰り下がりのあるひき算」

観点	関心・意欲・態度	活用		習得	
		思考・判断・表現	(体験)	技能	知識・理解
繰り下がりのあるひき算	⑤進んで問題解決に取り組もうとする。 「しようとする」	③計算の仕方を自分なりに考え、友だち同士で発表し合って交流する。「考える」	④ブロックを用いて計算の仕方を考える。	①減加法によって計算の答えを求めることができる。 「できる」	②減加法による計算の仕方が分かる。 「分かる」
				①②③④⑤の関係を整理し、まとめる。	①減加法の便利さを味わいながら減加法による引き算に習熟する。「習熟する」

目標分析による目標の洗い出しの目的

学習指導要領の内容をふまえ、児童生徒の実態に応じた、教材の特色を生かした、単元目標を設定するため

① 実態に応じて、発展的な目標を設定。

① 単元目標から、最終到達目標を抽出。

目標分析による目標と評価規準

小学校1年「繰り下がりのあるひき算」

観点	関心・意欲・態度	活用		習得	
		思考・判断・表現	(体験)	技能	知識・理解
繰り下がりのあるひき算	⑤進んで問題解決に取り組もうとする。 「しようとする」	③計算の仕方を自分なりに考え、友だち同士で発表し合って交流する。「考える」	④ブロックを用いて計算の仕方を考える。	①ひき算の問題について演算決定をし、立式することができる。	①減加法による計算の仕方が分かる。
				①減加法の便利さを味わいながら減加法による引き算に習熟する。「習熟する」	②減加法による計算の仕方が分かる。

目標から、評価規準(子どもがその目標を達成した姿)を作成する。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
進んで問題解決に取り組む、減加法を習熟することによって減加法の便利さを味わおうとしている。	減加法について計算の仕方を自分なりに考えることができ、友だち同士で発表し合って交流する。	減加法によって計算の答えを求めることができ、ひき算の後、たし算によって確かめることができる。	適用題によって減加法による計算の仕方が分かり、検算としてのたし算の使い方を知っている。

② できるためには、理解が必要。

③ 理解するためには、思考し、考えを人に伝えられなければならない。

④ 「考えるため」「説明するため」、1年生は具体物の操作が必要。

⑤ ブロックを用いて活動するためにはその活動意欲が必要。

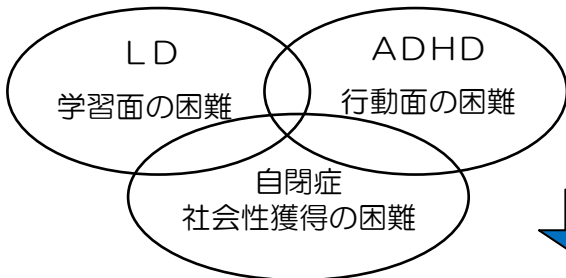
洗い出しをした目標をさらに「子どもがその目標を達成した姿」を考えて吟味する。

発達障害のある子どもが 参加しやすい授業づくり

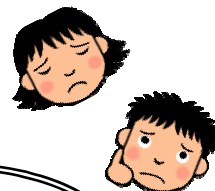
高知市教育研究所
特別支援教育班

発達障害のある子どもが参加しやすい環境って・・・？

LD・ADHD・高機能自閉症について



中枢神経系の障害であり、本人の努力不足や養育、親のしつけなどの環境が原因ではありません。



脳の情報処理が
未熟・うまく
いかない

そんな子どもたちが参加しやすい環境をチェックしてみましょう!!

参加しやすい学習環境は？

- 黒板周辺の掲示物がすっきりしている
- 視覚的な手がかりが多く与えられている
- 聴覚刺激が少ない
- 教室がきれいな状態で保たれている
- 望ましい行動に評価がきちんとある
- 教員の声の大きさが配慮されている
- ルールづくりができています
- 良いところさがしができています
- 個別の指導計画に基づいた支援がされている
- 習得レベルの把握がされている
- 学習のつまずきの原因が把握できている
- 参加できる集団づくりがされている
- 集団参加できる機会を作っている
- 具体的な行動を確認している
- 具体的な活動を取り入れている
- 指示内容の理解を確認している



参加しやすい授業 と 支援のポイント

- ① 今日の授業におけるポイントが明確である
- ② 視覚的・聴覚的な手がかりが多くある
- ③ 見通しを持って課題に向かうことができる
- ④ 授業で今、何が行われているか分かる
- ⑤ 1コマの中でも展開があり、飽きさせない
- ⑥ 作業や活動を多く取り入れた参加型である
- ⑦ いろいろな感覚を使わせる工夫がある

○ 周囲の刺激の調整

- ・ 座席の配置
- ・ 黒板の掲示物
- ・ 机上の整理
- ・ 音への配慮

○ 集中時間への配慮

- ・ 作業や課題の量
- ・ 問題や宿題の量
- ・ 活動のメリハリ

○ 指示の出し方の工夫

- ・ 1回の指示はひとつの内容
- ・ 具体的な指示(注目させてからの指示)
- ・ 全体的な指示をした後で個別に確認
- ・ 視覚に残る工夫

○ 見通しを持ちやすくする

- ・ 1日の流れや授業の流れを示す
- ・ 振り返り
- ・ 肯定的評価

特別支援教育を考えると・・・

「すぐ効く特効薬はありません」、
毎日の積み重ねが大切です。



次回【あったか授業・学級経営充実講座】研修

第3回 10月16日(火)15:30～

高知市教育研究所 教育相談班 「セルフモニタリングによる学級経営ビジョンづくり」
特別支援教育班 「特別な支援が必要な児童・生徒への具体的な手立て」
※ 9月に各学校にご案内を送付させていただきます。